

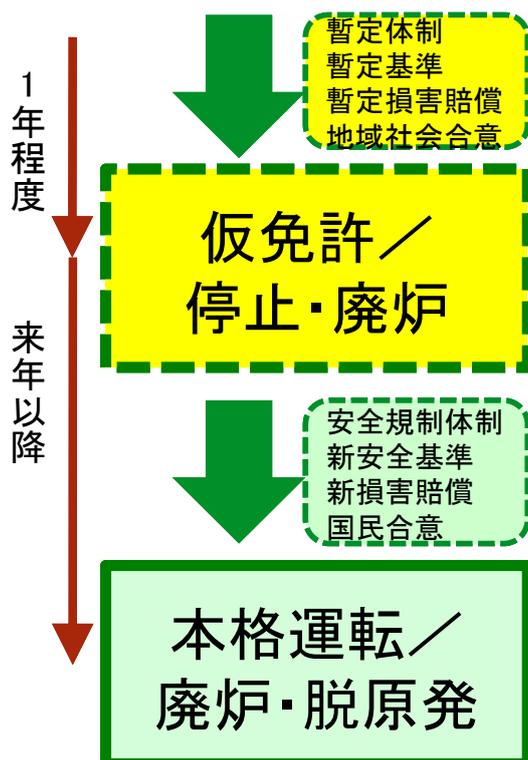
## 1. 組織原則の確立

- ① 一般公衆の安全性を最優先する責務
- ② 実質性、絶えざる向上心、緊張感
- ③ 透明性・公開性・参加性

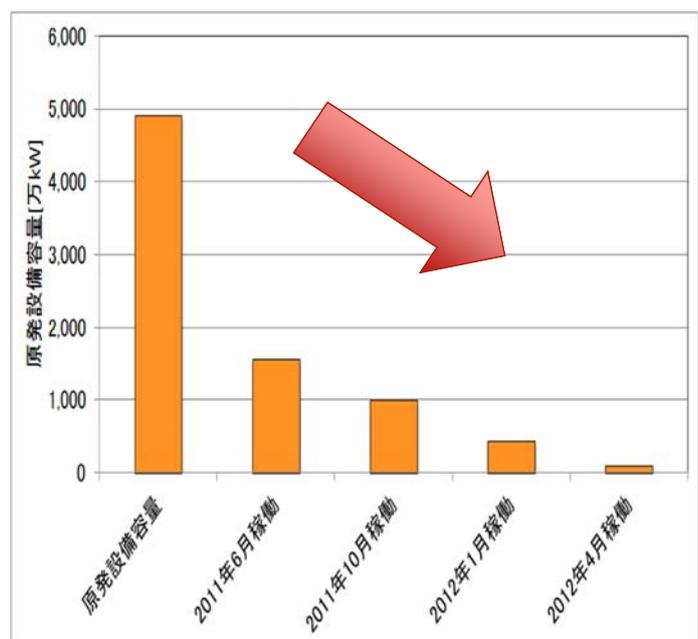
## 2. 再稼働問題への対応:

### 1. 原子力損害賠償枠組み見直しと 安全規制への適用

## 原発再稼働への対応



次々に停止する原発



# 再稼働可否の必須要件

ストレステスト？  
(追加的な安全裕度)

本来の安全性？  
損害賠償？

## 【ストレステスト要件】

1. 既設炉の総再点検後
2. アリバイテストにならない工夫
3. 福島第1原発の事故回避ができる水準

## 【必須要件】

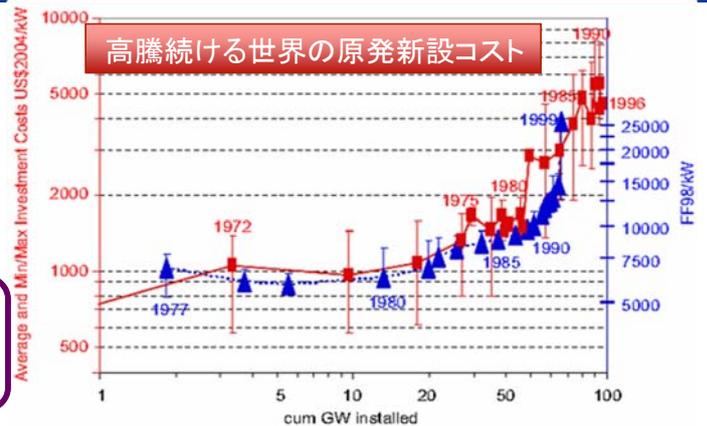
1. 暫定でも国民に信頼されうる新体制
2. 暫定安全基準による総再点検  
※最低でも事故調中間報告後
3. 最低でも10兆円規模の損害賠償保険

# 原発は「リアリティ・リスク・倫理」で評価すべき

## 【従来のコスト評価問題点】

- ・架空の計算でミスリード
- ・未実現技術の不確実性無視  
(高速炉、再処理、廃棄物処分)
- ・倫理的・社会的側面を無視

「事故コストの算入は感情的」(山名委員・第1回コスト小委)  
「2度と起こしてはならない事故コストを入れるのは正しくない」  
(秋元委員・同コスト小委)

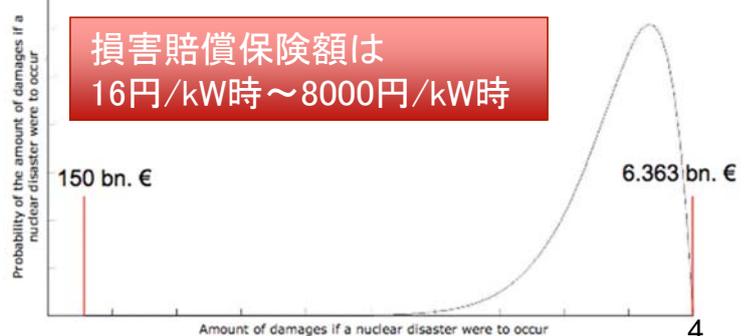


【出典】Data: US from Koomey and Hultman 2007, France from Grubler 2009. Diagram from GEA forthcoming

## 【見直しの方向】

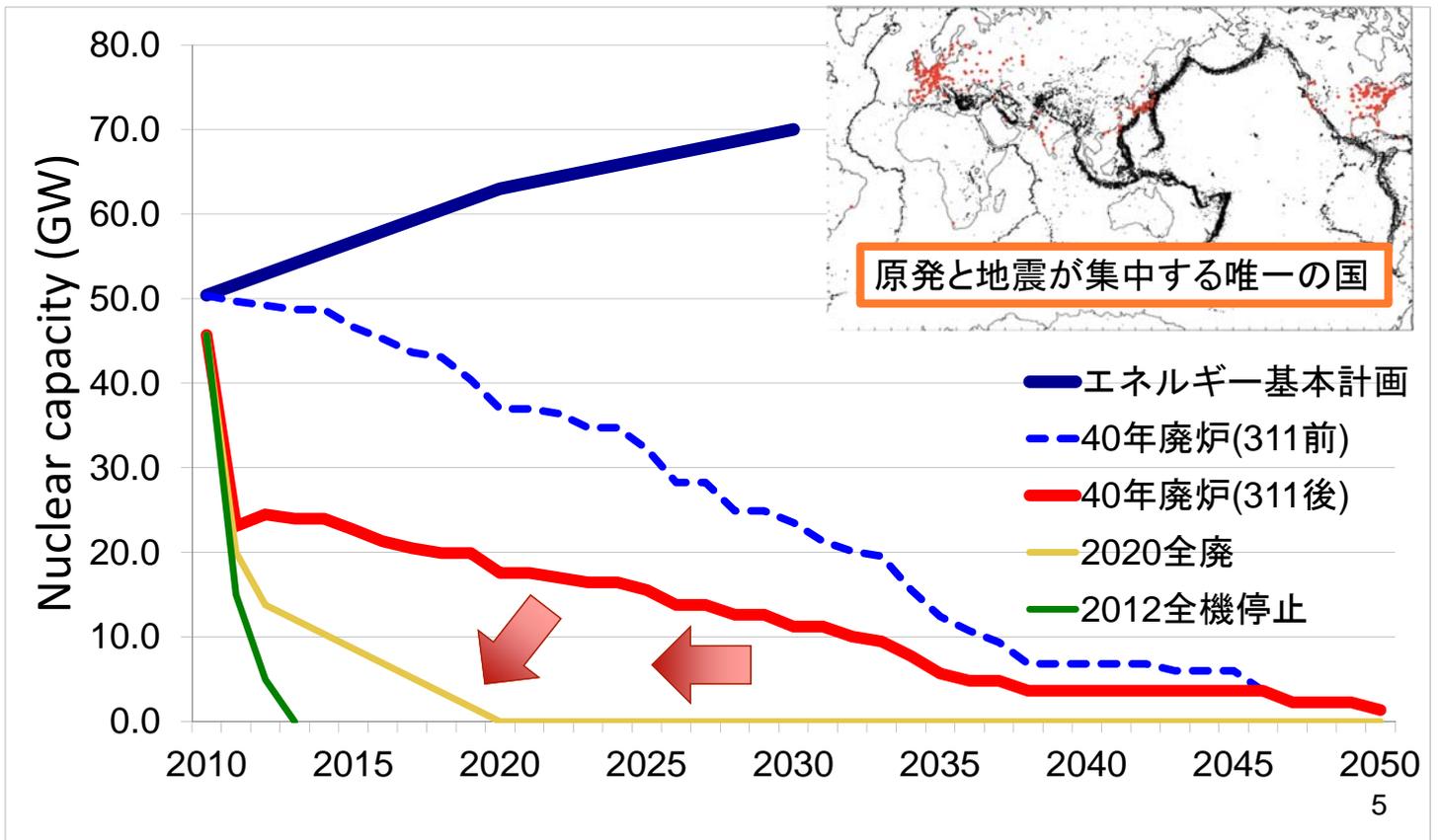
- ・事故損害賠償は市場の論理から無限責任保険の義務付けがスジ  
(各炉の安全実績と保険料を連動)
- ・核燃料サイクルは破綻を直視し放棄。使用済み燃料対策に転換すべき
- ・核廃棄物の非倫理性から総量抑制
- ・市場と民主主義による脱原発期限

損害賠償保険額は  
16円/kW時～8000円/kW時



【出典】Markus Rosenbaum (May 2011) Versicherungsforen Leipzig GmbH

## 市場と民主主義で脱原発期限とペースを決める



## 原子力損害賠償枠組み見直しと安全規制への適用

